

【編集発行】

熊本県天草市役所  
総務部秘書課広報広聴係  
〒863-8631 天草市東浜町8番1号  
TEL 0969-23-1111  
FAX 0969-22-7016  
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>  
E-mail [hisyoka@city.amakusa.lg.jp](mailto:hisyoka@city.amakusa.lg.jp)



所用で熊本～博多間の電車と、博多～新大阪間の新幹線に久しぶりに乗車。約5時間かかったものの、車と違い楽だなあと感心。平成23年春には九州新幹線・鹿児島ルートが全線開通し、熊本～新大阪間が約3時間20分で結ばれるとのこと。便利になるなあ。【空】

秘書課に来て困ったことがあります。それは私の美しい「○○弁」が通じないこと。自分では普通に話しているのに、なぜか笑われてしまい、通訳しなければ話が通じません。最近、前頭部の髪が薄くなってきました。何か因果関係があるのか、現在調査中です。【凡】

先日、インターンシップ（職業体験）で高校生3人が広報広聴係を訪れました。ちょうど、元大関・栃光のドラマ撮影が天草地区で行われていたため取材へ。すると、私の運転が悪かったせいか、3人とも車酔いし顔面そう白に。本当に申し訳なかったです。【松】

いつまでも暑いなあと思っていたら、あっという間に、朝夕寒くなってきましたね。日本の魅力の一つは「四季」があることですが、最近は季節の移り変わりをじっくり味わえなくなったような…。過ごしやすい秋もあっという間に過ぎてしまうのでしょうか。【村】



レンズの奥に見える **宝島のキャンパス**



人々の心のよりどころ **“弁財天”**

VoL.21  
栖本町古江

栖本町古江の海岸沿いにある小高い瀬の上に祭られている“弁財天”。古くから漁業神として信仰されており、昔は海岸から遠く離れた海中にありました。また、「梵天の妃」とも言われ、音楽の神、弁舌（智慧）の神としても信仰されています。

航海と漁業の安全を見守ってきた“弁財天さま”は、今も人々の心のよりどころとなっています。



「大江の宿は伴天連の宿」

高浜の庄屋・上田家に立ち寄った五足の靴一行は、大江天主堂にいるパアテルさん（神父）に会うために先を急ごうと、日が沈んだにもかかわらず高浜を出発します。真っ暗な山道にお

びえ、道に迷いながらもようやく大江に着いたのは午後10時。宿はふさがっていましたが、なんとか頼み込んで泊めてもらったのが「高砂屋」でした。

高砂屋は、吉井勇が「白秋とともに泊まりし天草の大江の宿は伴天連の宿」と詠った宿。昭和27年に天草に再来島した吉井勇は、この短歌について「実際はバテレンの宿ではなかったが、そのように想像したのである。あのころはまだ純真な青年だった」と述べています。



▲五足の靴一行が泊まった「高砂屋」